

静観台グループ例会

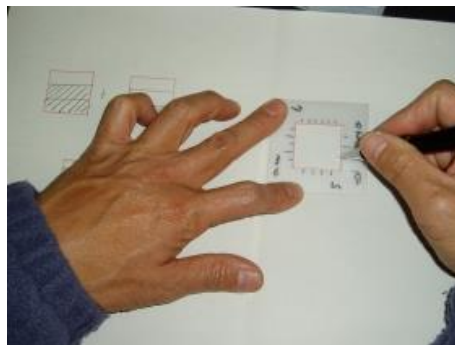
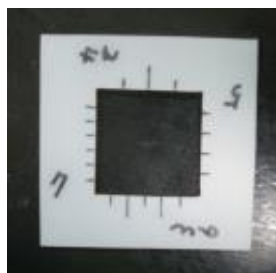
於：サイエンスフィールド 2005. 02. 09

参加者 難波（本荘小）高松（呂久小）倉橋（西大寺南小）柴田（西大寺南小）福井（伊島小）

【分数定規でナットク分数！ きれいなノート！】高松

分数定規というものを紹介してもらいました。真下の写真の四角い枠のようなものがそれで、100円ショップのPPシートを切って児童数分を自作されたそうです。使い方は、分数の問題があればいきなり枠の内側を使ってノートに正方形を描きます。そして「 $\frac{2}{3}$ 」なら3の目盛りのところで2つ数えて目印をつけて横線をひきます。（写真の手の左上に写っている図を参照）「 $\frac{2}{3}$ と等しい分数をつくりましょう」という問題であれば縦に半分にして $\frac{4}{6}$ 、3等分にして $\frac{6}{9}$ 、4等分にして $\frac{8}{12}$ など実に簡単に作れます。

分数の足し算・引き算、かけ算、約分、通分などが、図示されることで容易に理解できるようになります。なかなかスグレモノです。ただし分数のわり算については説明を受けましたが、福井には理解できませんでした。



【6年生 電磁石と電流の教材キット】福井

6年生の電磁石の単元は発展としてモーターを使えるということから各社共、工夫をこらした教材キットを開発しています。まず、ダイワの「フットサル・ロボ」。自作モーターで前進し、市販モーターで左右に回転します。市販モーターの軸に尻尾のような部品をつけただけでこの動きはグッドアイデア賞です。ただし、基本セットのエナメル線が投げ縄のように巻いただけなので、もつれて半泣きになる子供が続出しました。ポビンに巻いておいたらいいのに、と残念でした。次にアーテック社の名犬ロボット。フットサル・ロボと同様にリモコン操作で前進します。首や尻尾を振ったり口を開けたりします。アイボには負けますが、この値段でこの動きはたいしたもの。ただし、導線を簡単に接続する部品が不透明で、動かない時のチェックが面倒です。かえってエナメル線を裸のままつけておいた方が楽ですね。いずれのキットについても言えることですが、半数以上の子供は一度では動くようにできません。動かなかった時のチェックのポイントをもう少し説明しておいた方が親切です。また、豆電球を使った簡単なチェッカーをクラスにいくつか分けておくといいのですがね。教材メーカーさん、ヨロシク！



【手品オンパレード】倉橋・福井

トランプや絵カードを使った手品をいくつか出し合いました。手品は科学的思考を育てる授業に活用できると思いますよ。

